ほぼ週刊コラム　Partnership論　その２３６

**大統領就任演説、****common goodを、使ったオバマ使わなかったトランプ**

20170825 rev.1 齋藤旬

**Christian Social ThoughtもChristian Democracyも、「共通善」「人間の尊厳」を社会公理として組み立てられる社会思想であり、「宗教抜き」「神抜き」。**先週この様に述べた。

また脚注4に、「共通善」「人間の尊厳」が何なのか未だ明確に定まっていない。discernし切れていない。各界でのdiscernの進展を今後は適宜紹介していく。この様に書いた。

今週は、これら二つの内の共通善の説明から始めるつもりで、[WikipediaのCommon good](https://en.wikipedia.org/wiki/Common_good)を半訳しようとした[[1]](#footnote-1)のだが、作業に十分な時間が取れなかった。そこで今週は手持ちの小ネタ： common goodを使ったオバマ使わなかったトランプ、をお話しする。

[**オバマ大統領就任演説（2009年）**](https://www.aol.com/article/news/2017/01/19/president-barack-obamas-first-inauguration-speech-full-text/21657532/)**、共通善使用箇所：1回**

* The success of our economy has always depended not just on the size of our gross domestic product, but on the reach of our prosperity; on our ability to extend opportunity to every willing heart -- not out of charity, but because it is the surest route to our common good.
* 私達の経済の成功は、単にGDPの規模によるのではなく、それが如何にあまねく享受されているのかに、今も昔も、かかっています。そう、全ての意欲ある一人一人に、機会を拡大するために私達が持つability（法律的能力）にかかっているのです。慈善心からそうするのではありません。これが、私達の共通善へと向かう最も確実な道だからです。

[**トランプ大統領就任演説（2017年）**](http://edition.cnn.com/2017/01/20/politics/trump-inaugural-address/)**、共通善使用箇所：ゼロ回**

**このことからトランプが**、脚注１で述べた「共通善visionの拡大を行いこれを使い出しもはや共和党と同一視できなくなった、新たな福音派プロテスタント」と、距離を置いていることが窺われる。

**他方オバマは、共通善が持っているはずだと多くの人が考えている二つの特性**：

1. 漸近性（gradualness）  
   the surest route to our common good（私達の共通善へと向かう最も確実な道）
2. 多様性のある統一（united diversity）  
   every willing heart（各人の意志ある心）

をunderstandしていることが窺える。

今週は以上。来週も請うご期待。

1. 最初の一文は、In [philosophy](https://en.wikipedia.org/wiki/Philosophy), [economics](https://en.wikipedia.org/wiki/Economics), and [political science](https://en.wikipedia.org/wiki/Political_science), the **common good** (also [commonwealth](https://en.wikipedia.org/wiki/Commonwealth) or **common weal**) is a [term of art](https://en.wikipedia.org/wiki/Term_of_art), referring to either what is shared and beneficial for all or most members of a given [community](https://en.wikipedia.org/wiki/Community), or alternatively, what is achieved by citizenship, collective action, and active participation in the realm of politics and public service. The concept of the common good differs significantly among [philosophical doctrines](https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_philosophies).[[1]](https://en.wikipedia.org/wiki/Common_good#cite_note-Britannica-1)

   半訳：「哲学、経済学、政治学において、共通善は専門用語となっている。意味するところは、当該communityの全部または大部分のmembersが共有するbeneficialなものごと、あるいは、citizenship, collective action, 政治と公共サービスへの積極的参加、により達成されるものごと。共通善の概念は、哲学学説によって大きく異なる。」

   [5 In Catholic social teaching](https://en.wikipedia.org/wiki/Common_good#In_Catholic_social_teaching)としてカトリック社会教説での使われ方も説明されている。プロテスタントも近年、共通善概念を積極的に使い出したが、このwikipedia記事の中には触れられていない。かつて米国共和党は共通善概念をあまり使わないカルヴァン派のプロテスタントと近い関係にあったが、近年は[*The New Evangelicals: Expanding the Vision of the Common Good*](https://www.amazon.com/New-Evangelicals-Expanding-Vision-Common/dp/0802866409/ref=sr_1_1?ie=UTF8&qid=1503627733&sr=8-1&keywords=the+new+evangelicals+expanding) (2011)という本も出版され、「もはや共和党と同一視できない新たな福音派プロテスタントが共通善visionの拡大を行い、これを使い出した」ことが窺われる。私の読解力と共鳴指向で分かれば、この新たな共通善についても紹介したい。 [↑](#footnote-ref-1)